

季刊紙

医療法人社団 岡田会
理念
正義・友愛・奉仕
基本方針
医療にヒューマニズムを

やまのべ

(題字)
奈良県指定無形文化財
無監査刀匠 月山 貞利

耳鼻咽喉科 開設

物忘れ外来 開設

『若草山山頂』

新年のご挨拶を申し上げます／耳鼻咽喉科紹介	01
薬のお話	02
第2回やまのべグリーンヒルズ地域貢献セミナー／炊出し訓練／やまのべ健康川柳	03
Yamanobe Festibal 2024 /介護予防事業サービスC	04
ウェルカムフェスタ開催／地域貢献セミナー／まきむく草庵アレコレ	05
連載：地域の光と風 四天王寺	06
物忘れ外来／纏向自主防災会合同避難訓練に参加／2024年院内医療安全推進週間／編集後記	07
送迎車時刻表／外来診察一覧表	07

発行 医療法人社団 岡田会
〒633-0081
奈良県桜井市草川 61 番地の 1
TEL 0744-45-1199
FAX 0744-42-1320
e-mail office@yamanobe.or.jp
https://www.yamanobe.or.jp

責任者
編集委員会



新年のご挨拶を

申し上げます

皆様、新年明けましておめでとうございます。皆様は良い年を迎えられたでしょうか。

またまたコロナの話で恐縮ですが、コロナが日本に上陸してから、およそ5年でしょうか。感染した人は何百人でしょうか、亡くなられた方も多数おられます。

私どもの病院、老健でも感染した人は沢山いて勉強させて頂きました。

私も2回感染しました。幸い大した症状もなく、後遺症ありません。感染症の5類になったからといっても、感染すればそれなりの症状はあるし、重症になる人もおられます。

治療も必要ですし、仕事、学校も休まなければなりません。昨年の秋にはインフルエンザも流行し、学級閉鎖、学校閉鎖もありました。

皆様におかれましては感染対策はしっかりと頂くようお願いいたします。耳たこですが、手洗い、うがい、マスクです。これにつきます。

新年の挨拶らしからぬ話で申し訳ありません。今年もよろしく申し上げます。



医療法人社団岡田会
理事長
岡田 二郎

耳鼻咽喉科紹介

2024年10月から耳鼻咽喉科外来を開設しました。耳鼻咽喉科は耳、鼻、口、のど、首と診察領域が多岐にわたります。対象年齢も乳幼児から高齢者まで幅広く、誰でも受診する可能性がある科です。具体的な疾患として、感覚器障害（難聴、めまい、嗅覚障害、味覚障害など）、顔面神経麻痺、アレルギー疾患（アレルギー性鼻炎、花粉症など）、感染症（中耳炎、鼻副鼻腔炎、扁桃炎、咽喉頭炎など）、音声障害（声帯ポリープ、声帯結節など）、嚥下障害、頭頸部腫瘍、甲状腺腫瘍などがあります。

耳領域の症状として、耳が痛い、耳だれ、聞こえにくい、耳が詰まった感じ、耳垢が取れない、めまい、顔の動きが悪いなどがあります。突然片側の耳の聞こえが悪くなる突発性難聴や顔の動きが悪くなる顔面神経麻痺では早期に治療しないと改善しないことがありますので、症状が出た場合は早めに受診することをお勧めします。

鼻領域の症状として、鼻みず、鼻づまり、においがわからない、鼻の中がにおう、鼻水がのどへたれる、などがあります。口とどの症状として、口やのどが痛い、咳がでる、痰が絡む、声がかすれる、飲み込みが悪い、のどに違和感がある、首にしこりを触れる、などがあります。これらの症状は鼻副鼻腔炎や感冒のときにしやすい症状です。これらの症状が長く続いて改善しない場合、頭頸部がん（舌がん、咽頭がん、喉頭がんなど）の可能性があります。特に飲酒、喫煙をされている方はリスクが上がりますので、内視鏡検査を受けることをお勧めします。

当科で施行可能な検査は、聴力検査、平衡機能検査（眼振検査、重心動揺検査）、内視鏡検査で、全て当日中に施行可能です。血液検査、画像検査（レントゲン、CT、MRI）もできますので、より精度が高く検査し、治療に結び付けることができます。

耳鼻咽喉科開設時点では木曜日午前のみ（第3木曜日を除く）の診察ですが、診察日が増える予定です。常勤医はおらず非常勤医の診察になります。さらなる精査や手術が必要な場合は他院へご紹介いたします。高齢の方で補聴器の希望がある場合は、認定補聴器専門店をご紹介いたします。地域の皆様に少しでもお力になればと思っていますので、気軽に受診してください。



薬のお話

その2

戦国時代

戦国時代には、さまざまな薬が使われていました。例えば、以下のようなものがあります

生蘇散：朝倉氏の家薬で、芭蕉の巻き葉、スイカズラ、黄檗、山桃の実と皮などを使った薬です。戦場で負った切り傷に使われました。

混元丹：プラセンタを含む薬で、戦国時代のプラセンタとも呼ばれました。特に戦で活躍した武将に贈られることがありました。

豊心丹：奈良県の興福寺で作られた薬で、高麗人参や白檀、沈香など 15 種類の成分が含まれていました。下痢や頭痛、二日酔いなどに効くとされていました。



戦国時代の三英傑の一人、織田信長は伊吹山（現在の岐阜県・滋賀県の県境に位置）に「薬草園」を作らせたといいます。この薬草園は 50 万平方メートルにもおよび、そこには西洋の薬草が約 3000 種類も栽培されていたそうです。東京ドームのグラウンドが 25 個分で 10 万平方メートルですので、その 5 倍という、ものすごく広い面積になりますね。この薬草園について確かな記録はまだ見つかっていませんが、この伊吹山にのみ、イブキノエンドウ、キバナノレンリソウ、イブキカモジグサ、といったヨーロッパ原産の植物が自生しているため、有力な証拠となっています。

また、その頃には、薬師という、現在でいうところの薬剤師がいました。この薬師は、患者の様子を見て、それに合う薬を処方し、医者のような役割も担っていました。当時は、中国から伝わってきた漢方に、日本独自の薬学が加えられたものでした。当時は、戦が頻繁に起こる戦国時代。このころから、医学や薬学の必要性が以前にも増して大きくなっていきました。そして、兵士の体調に関わる問題のため、薬は軍事物資として重要視されるようになりました。

江戸時代

昭和の時代ですが、この頃には、テレビで時代劇が多く見受けられました。

徳川幕府は 260 年続きましたが、時代も江戸から明治へ。また大正・昭和から現代へと移り変わっていく中で、今の病院・薬関係に限ったことでも、この江戸時代は大きく変わりました。

江戸時代には、多くの薬が使われていました。例えば、

五霊膏：徳川家康の時代に人気があった目薬で、寒水石や竜腦、黄連などを使って作られました。

調痢丸：堺の松本市左衛門が販売を始めた薬で、下痢に効くとされました。

錦袋円：1664 年に上野池の端で売り出された薬で、気付けや胃腸障害に効果があるとされました。

小柴胡湯：慢性肝炎の治療薬として使われた漢方薬。

葛根湯：風邪薬として知られる漢方薬。江戸時代には、薬種問屋や成薬店が多く存在し、庶民も薬を手に入れやすくなりました。また、医者が生薬を調合して患者に提供することも一般的でした。

などです。

筆者の個人的思想ですが、江戸時代といえば、何人かの名前が挙がってきます。

徳川家康の孫にあたる水戸黄門も、その中の一人です。

皆さんの記憶にもあるであろう印籠。印籠の中には、薬が入っていたという伝説は有名な話ですね。

また、徳川八代将軍、紀州吉宗公の時代、1716 年から 1736 年にまたがる「享保」の時代（享保の改革）の中で登場する大岡越前がいます。

今でいう裁判の名裁きでも有名な人です。

小石川薬園

小石川養生所は、別名「施薬院」とも呼ばれ、その名の通り「薬を施し治療する」施設ですが、歴史的に「貧しい庶民を救済する」目的を持った施設をこのように呼び、施薬院の歴史は伝承上、奈良時代にまでさかのぼります。字義通りにとらえれば、現代で言う「薬局」に近い施設のようにも思えますが、「入院させて、治るまでいてもらう施設」でした。

その小石川養生所の設立は、この目安箱への投書によって実現したものでした。提言したのは町医者おがわしゅうせんの小川笙船。一握りの裕福な町人しか薬（漢方薬）を手に入れられなかった時代にあって、病を持つ貧民の窮状を見ていた小川笙船は、幕府医師による診療を無料で受けられる施設、すなわち施薬院の設立を提案しました。

徳川吉宗公は施薬院の設立を検討するよう町奉行・大岡忠相に命じ、その年の 12 月に「施薬院」を設立。医長は提案者である小川笙船自身が務めました。

小石川養生所と、小石川御薬園とのかかわり

吉宗公は、五代将軍綱吉が開いた小石川御薬園を、現在の小石川植物園の敷地全体に拡張した人物でもあります。政策においても「庶民の健康」を大きな軸としていた吉宗公にとって、薬用植物を育てていた御薬園の拡張は大きな意味のある事業だったということです。薬用植物を育てる御薬園と、貧しい病人を治療させる養生所。

また小石川薬園では、青木昆陽により救荒作物としてサツマイモ栽培が行われていました。この青木昆陽を抜擢したのも忠相で、サツマイモ栽培に関する費用を助成しています。



徳川綱吉



徳川吉宗



2024.10.11 第2回

やまのベグリーンヒルズ地域貢献セミナーを開催しました



2024.10.11 今期2回目の、「やまのベグリーンヒルズ 地域貢献セミナー（施設見学会）」を開催しました。今回は感染対策に留意しながらより近くで私たちの日ごろの取り組みを見ていただき、知っていただく機会を持ちたいと、紹介ツアー形式を取り入れました。

まず、介護事業部 介護老人保健施設やまのベグリーンヒルズ 在宅関連事業 澤事務長より、当施設の概要、在宅復帰指標の考え方等についてお話をさせていただきました。続いて、やまのベグリーンヒルズ 支援相談課 佐藤主任より当日の流れ等、説明させていただきました。

そしていよいよ紹介ツアーのはじまりです。参加くださった皆様とグループ毎に、施設内の4つのブース（介護・看護・リハビリ・デイサービスやまのべ）を巡りました。



介護のブースでは、介護部 川西主任より、入所棟の一日の流れ、排泄ケア、職員の研修体制等の紹介、看護ブースでは、看護部 坂本師長より、「口腔・栄養・経口維持食事等の取り組みについて」、リハビリブースからは、リハビリ課 米井主任より、「完全オーダーメイドの個別リハビリについて」、デイサービスやまのべからは、水野介護主任より、「デイサービスでの一日、様々なカルチャークラブ等について」紹介させていただきました。

最後に、参加くださった皆様と、交流会を行いました。

短い時間ではありましたが、利用者様も普段どおり過ごされている中で、よりリアルな日常の様子を感じていただけたのではないのでしょうか。

私たちは、これからも地域の皆様に「介護で困ったことがあれば『やまのベグリーンヒルズ』に相談しよう!」とだけ思っていたらいい施設を目指していきたいと思えます。



やまのベグリーンヒルズ 炊出し訓練(BCP対象訓練)



10月16日(水) やまのベグリーンヒルズ駐車場一角で、大規模災害を想定し、炊き出し訓練を行いました。

同敷地内にある全事業所の災害対策委員会のメンバーを中心に、伊丹産業株式会社 桜井支店から4名の方の参加・協力を頂き、120人分のみそ汁と、60人分のご飯、15人分のお粥をつくりました。電気やガス、水道というライフラインが止まってしまうことを想定し、五徳にガスボンベをつなぎ、用意している寸胴鍋に食材やペットボトルのお水を計量して調理しました。

火加減に注意しながら炊き上がったご飯は、今回は少しおこげができていましたが、マニュアルに従い時間内に訓練を終えることができました。

調理後のごはんやお味噌汁は訓練後、職員がいただきました。



午後からは、消防訓練も実施され、施設内で火事が起こった時に備えて、火災報知機の確認の仕方や消火器や散水栓を使っての消火作業を学びました。

いつ起こるかわからない災害を想定し、利用者様や職員の安全を守るため定期的な訓練を実施し、皆様に安心してご利用いただける施設でありたいと思えます。



始めよう

その第一歩が 大一步

まきむく草庵 職員

「アーンして」

昔ラブラブ 今介護

まきむく草庵 職員

寒くても

リハビリすれば あたたまる

グリーンヒルズ 利用者様

寝るもんか

夜更かし楽し お正月

グリーンヒルズ 職員

寒い日も

体動かし 健康に

グリーンヒルズ 利用者様

寒くても

山茶花の花 咲きほこる

デイサービス 利用者様

風邪予防

うがい手洗い めし睡眠

グリーンヒルズ 利用者様

やまのべ健康柳

Yamanobe Festival 2024

2024年11月3日(日) 暖かな秋晴れの日、やまのベググリーンヒルズにて「Yamanobe Festival 2024」が開催されました。

ステージでは「フルーツ演奏」「和太鼓演奏」「フラダンス」「歌謡ショー」が行われました。美しい音色や力強い響き、優雅なダンスにたくさんの方が楽しんで下さいました。また、屋外の出店では、たこ焼き・焼きそば・フランクフルトなどお祭りには欠かせない食べ物その他、射的や輪投げなど楽しいブースもあり、お子様はもちろんご高齢の方たちも童心に帰って遊んでおられました。1階フロアには、学校法人青丹学園ヴェールルージュ美容専門学校の皆様にご協力いただき、ビューティーブースにて、ヘアアレンジやネイル、ハンドマッサージを体験して頂きました。利用された方の年齢層は幅広く、綺麗になったヘアスタイルや手や爪を、嬉しそうに見せ合っておられました。

今回は5年ぶりに、利用者様だけでなく、ご家族様、関係者の方々、地域の皆様にも参加いただくことができました。参加下さった方々、協力頂いた皆様、本当にありがとうございました。これからも皆様楽しんで頂ける活動を続けていきたいと思っております。



介護予防事業サービス C (短期集中予防サービス)

やまのベググリーンヒルズ デイケアでは、「介護予防事業サービス C (短期集中予防サービス)」を実施しています。

「介護予防事業サービス C」とは、要支援レベルの高齢者向けに、介護予防として筋力トレーニングや運動などの指導を受けて頂くサービスです。

対象者は、要支援認定者及び事業対象者又は基本チェックリストにより、介護予防ケアマネジメントの結果、専門職より短期集中予防サービスが該当であり、改善が見込まれると判断された方となっています。

生活機能が低下している高齢者に対し、保健及び医療の専門職が集中的にケアを行う事で、高齢者の生活機能改善・向上させることを目的としています。また、生活機能を改善・向上させた結果、ボランティア活動やサークルなど住民主体の通いの場などの社会参加へつなげることも目標の一つです。

当施設では 2023 年 4 月から桜井市の業務委託を受け、開始しました。1 クール 3 カ月間、2 回 / 週、1 回 90 分間のトレーニングをやまのベググリーンヒルズの 1 階リハビリ室にて実施しています。桜井市から依頼を受けた対象者の方に、1 クールの定員を少人数に設定し、利用者 1 人 1 人の関わりを大切に、理学療法士や作業療法士が利用者に合わせて運動機能向上プログラムを組み、運動の指導を行っています。最終日には、桜井市からの修了証書をお渡しし、当事業所での活動参加は終了となります。令和 7 年度も引き続き、「介護予防事業サービス C」を実施させていただきます。



■山の辺病院
■やまのベリハビリセンター
☎ 0744 (45) 1199
桜井市草川 60 番地

■介護老人保健施設(従来型)
やまのベググリーンヒルズ
☎ 0744 (45) 5960
桜井市大豆越 104 の 1
◇入所 ◇短期入所療養介護
◇通所リハビリテーション
介護予防通所リハビリテーション(デイケア)

■介護老人保健施設(ユニット型)
まきむく草庵
☎ 0744 (45) 1502
奈良県桜井市草川 58 番地
◇入居 ◇短期入所療養介護
◇通所リハビリテーション
介護予防通所リハビリテーション(デイケア)

■指定通所介護施設
デイサービスやまのべ
☎ 0744 (45) 0280
桜井市大豆越 104 の 1
入浴・機能訓練・カルチャー教室・グルメ
イベント等各種実施中
無料体験もお気軽にどうぞ

■訪問看護・訪問介護
アップル
☎ 0744 (45) 0604
桜井市大豆越 104 の 1
訪問看護師・訪問介護員が健康管理や日常生活の援助を行っています

■在宅介護支援センターやまのべ
☎ 0744 (45) 5962
桜井市大豆越 104 の 1
ケアマネジャー(介護支援専門員)が在宅介護に関するご相談や介護サービスの調整を行っています
お気軽にお問い合わせください

■児童発達支援・放課後等デイサービス
発達・教育支援センター アミックス
☎ 0744 (46) 3730
桜井市辻 53 番地
営業時間：火・金・土 9:00～17:00
水・木 11:00～18:45
※日・月・祝はお休みとなります
対象：0～18歳までの受給者証をお持ちの方

■桜井市地域包括支援センター
ひかり
☎ 0744 (45) 3651
桜井市大豆越 104 の 1
住み慣れた地域で安心して暮らせるよう地域住民に対し、保健・福祉・介護等の支援を行っています

ウェルカムフェスタ開催

コロナ禍以降行われていなかったまきむく草庵ウェルカムフェスタが5年ぶりに復活しました！10月6日（日）、天候にも恵まれ、予想以上のご来場となりました。迫力ある初瀬太鼓様・琉球國祭り太鼓様のステージに花吹雪紫音様の爆笑マジックショー、恒例の大抽選会で大盛況となりました。入居者様も家族様と一緒に会場を回られ、記念撮影や、綿菓子・アイスクリームなどを召し上がって楽しい一日過ごされました。準備では皆様をお出迎えする看板を各フロアの利用者様が作成され、販売ブースのさつまいものラッピングもしていただきました。また来年も皆様に喜んでいただけるよう、イベント委員を筆頭に職員一同取り組んでまいります。



地域貢献セミナー

11月21日（木）に森永乳業様をお迎えし「骨と腸の健康教室」を開催しました。地域の方にご参加いただき、骨と腸の健康についての講話や、骨強度の測定、試飲会などを行いました。近頃では「腸活」が話題になったり、骨粗しょう症（山の辺病院にも骨粗しょう症外来があります）のリスクを気にされている方も多く、皆さま真剣に耳を傾けておられました。健康は損なってから大事さに気づくもの…そうならないためにも「自身の体を日頃からケアしていく大切さを実感する機会となった」「知らなかった情報を教えてもらいためにあった」と、ご参加になった方の感想を聞くことができました。セミナー後は通所リハビリ・入所棟をご見学になり、施設内の紹介をさせていただきました。地域に根ざす施設として「まきむく草庵」を身近に、より知っていただける機会になったと思います。

またこのようなセミナーを定期的で開催していきますので、その際はぜひご参加くださいませ。



まきむく草庵アレコレ

まきむく草庵では季節を感じていただけるようなイベントを行っています。冬のシーズンはクリスマス会企画やフロアのクリスマスデコレーション、正月に行う獅子舞の作成にも力を入れています。楽しみを見出し、施設生活に張りを持っていただくためにもレクリエーションを大切にしています。

フロアには利用者様の日常の様子や行事など、様々な写真を展示しています。「こんな笑顔久しぶりに見たわ！」と家族様から大好評で、展示しているお写真を撮影される方もたくさんいらっしゃいます。日頃家族様をご覧になれないお姿や表情を毎回楽しんでいただいています。



飾りはすべて職員の手作りです！



クリスマス会の日、
そりに乗ってサンタが
やってきました♪



正月恒例の獅子舞が
元日に舞い踊りました！

地域の光と風

四天王寺

今から約1450年前（西暦574年）、用明天皇の第二皇子として、上宮の厩戸豊聡耳命（聖徳太子 以後「太子」）が誕生されました。太子は、日本の古代史において最も著名な政治家・思想家の一人であり、日本の歴史上、特に飛鳥時代において重要な役割を果たした人物です。彼は政治の世界において多くの革新的な改革を行い、また仏教の普及にも尽力しました。

桜井市には太子の住居跡とされる「上之宮遺跡」があります。日本書紀によれば、太子の住まいは「上宮」であるとの記述があり、この遺跡が該当すると考えられています。土舞台顕彰碑もここに建てられており、芸能の発展にも貢献した太子の精神を今に伝えています。さらに、最近の発掘調査では、6世紀末の宮殿クラスの建築遺構群が上之宮で確認されています。この遺跡は、聖徳太子が32歳まで居住したとされる上宮であるとする説もあります。その規模や歴史的背景から、太子の住居跡として注目されています。

四天王寺は、太子によって推古元年（593年）に建立された日本最古の仏教寺院の一つであり、また日本で最初に建立された国家管理の寺院でもありました。四天王寺は日本文化と歴史に多大な影響を与えており、以下はその一部です。

1. **仏教の普及と発展**：太子は仏教の普及に尽力し、四天王寺はその中心的な役割を果たしました。仏教の教義や儀式が広まり、日本の宗教文化に深く根付きました。
2. **建築と美術**：四天王寺は日本最古の寺院の一つであり、その建築様式や美術は後世の寺院建築に影響を与えました。特に四天王寺の建築様式は、四天王寺にのみ保存されており、飛鳥最初期の様式を知る上で、大変貴重です。

3. **教育と文化**：四天王寺は学問と教育の場でもありました。仏教の教えや文化が広まり、学僧たちが修行し、文化的な交流が行われました。現在も四天王寺学園として継承・運営されています。
4. **社会福祉と慈善活動**：太子の精神は慈悲と善行を重視しており、四天王寺も社会福祉事業を展開しました。これは日本の慈善活動の先駆けとなりました。現在は四天王寺福祉事業団として、大阪府下に約20の福祉施設の運営で、今日に継承されています。

総じて、聖徳太子と四天王寺は日本の歴史、宗教、文化、美術、教育、社会福祉において重要な存在であり、その影響は今なお続いています。また、四天王寺は、新西国三十三箇所第1番札所のほか、多数の霊場の札所となっています。

幾度となる戦や台風により、全損しては、時代を生きた有力者により再興されてきました。そして平安から鎌倉時代の新仏教の開祖である天台宗の最澄、真言宗の空海、浄土宗の法然、浄土真宗の親鸞などが、参籠したことなども知られています。

金堂—1961年（昭和36年）3月再建。入母屋造で屋根は上下二重とする。中門、講堂と同様、鏝葺とし、鴟尾を乗せる。外観は法隆寺金堂に似るが、裳階を付さない点が異なっている。内部には中央に本尊救世観音菩薩像、向かって左に舍利塔、右に六重塔を安置し、仏壇周囲に四天王像が立つ。

本尊—四天王寺の本尊は、近世の史料には「如意輪観音」とするものが多いが、現本尊は救世観音菩薩と称されている。彫刻家平櫛田中氏監修、村上丙氏製作で造像



奈良県桜井市上之宮遺跡



救世観世音菩薩



講堂 阿弥陀如来・十一面観世音菩薩

されたもので、左脚を踏み下げて座す半跏像である。こうした半跏形式の菩薩像は右手を頬に当てる「思惟像」が多いが、当寺の本尊像は右手の掌を正面に向ける施無畏印とする。なお、仏壇四隅に立つ四天王像は仏師松久朋琳・宗琳の作である。

五重塔—現在の塔は1959年（昭和34年）再建の8代目。「六道利救の塔」ともいう。壁面には山下摩起筆の仏画がある。舍利塔が奉安されている5重目まで階段で上げられるようになっている。

講堂—入母屋造単層。堂内西側を「夏堂」、東側を「冬堂」と称し、それぞれ阿弥陀如来坐像（松久朋琳・宗琳作）、十一面観音立像（佐川定慶作）を本尊とする。周囲の壁面には郷倉千鞠筆の「仏教東漸」の壁画がある。



絵堂第四面の聖徳太子絵（→絵堂）



創建時の四天王寺伽藍模型（大阪府立近つ飛鳥博物館展示）。南から北へ（この画像では右から左へ）中門、五重塔、金堂、講堂を一直線に配置するのが特色。

物忘れ外来 2024年11月開始

予約制 毎週火曜日 9:00 ~ 12:00

物忘れは高齢に伴って起こりやすくなるだけでなく、病気が原因となっている場合があります。病気によっては治療によって物忘れが改善する場合があります。認知症であっても服薬によって進行を遅らせることができます。認知症は特別な病気ではなく、誰でもなる可能性のある身近な病気です。なるべく早く診察を受けることが大切です。

物忘れ外来の流れの一例（※この流れとは異なる場合もあります）。

- 山の辺病院 受付へ予約
- 診察（火曜日：山田修一先生）
- 必要に応じて、認知機能検査、MRI など
- 再診（火曜日：山田修一先生）

纏向自主防災会合同避難訓練に参加

2024年12月1日（日）10時から標記合同訓練に山の辺病院・まきむく草庵・グリーンヒルズ・地域包括支援センターひかりの方たちと訓練に参加しました。今回、はじめて炊出し訓練というかたちで豚汁を提供いたしました。紙面の都合上、次号にて詳細を報告させていただきます。訓練に参加された、自主防災会、消防団、消防隊員、警察官等々、地域住民の方々大変お疲れさまでした。



編集後記

新年明けましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願いたします。さて、2019年に発生し、翌年には国内にて感染が広まりましたコロナウイルス感染症。その感染症を防ぐ為、時間制限や密を避ける。マスク着用などの様々な予防策が取られてきました。当院においても、コロナ禍になってから密な状態を避ける為に、研修会などは取りやめてDVD視聴で行っていましたが、今年は5年ぶりに院内研究発表会と医療安全の研修会をデイサービスやまのべにて対面で行いました。看護部、リハビリテーション部、介護事業部と各部署での発表でした。決められた短い時間内での発表でしたが、大変勉強になりました。



2024年院内医療安全推進週間

令和6年11月24日（日）～11月30日（土）
（毎年度11月25日を含む1週間）

毎年、厚生労働省の医療安全推進週間に併せ、病院玄関正面に、医療安全のポスターを掲示し、医療安全を再認識することに努めています。

また年に2回、全職員を対象に、医療安全と感染対策の研修会を実施しています。



近鉄桜井駅

YAMANOBE HP
やまのべリハセンター

送迎車時刻表

桜井駅（北口）	山の辺病院	山の辺病院	桜井駅（北口）
8:00	8:23	8:30	8:53
9:05	9:28	9:10	9:33
9:40	10:03	9:40	10:03
10:15	10:38	10:15	10:38
10:45	11:08	10:50	11:13
11:25	11:48	12:05	12:28
12:30	12:53	13:00	13:23
15:55	16:13	15:25	15:48
		20:10	20:33

15人乗りです。運転手を除いて定員は14人です。
7人乗りです。運転手を除いて定員は6人です。
職員送迎専用です。

職員送迎専用です。同乗できます。

※片道20分程度を見込んでおりますが、遅れる場合がございます。
※当分の間、平日の午後、日祝日は運休いたします。
※その他については、病院事務所にお問い合わせ下さい。
※但し、日曜・祝日/年末・年始は運行していません。

桜井駅北口待合所



無料送迎車運行中!

医療法人社団岡田会 山の辺病院 外来診察一覧表 (2025年1月1日現在)

		月	火	水	木	金	土	日
内科一般	一診	田原	福居	若月	築瀬	中本	担当医	-
	二診	中本	浪崎	近森	森元	若月	松山	-
内科 専門外来	糖尿病 田原	-	糖尿病 若月	-	-	-	-	-
皮膚科		-	-	-	樋口	-	-	-
午前 整形外科		-	岡田憲	岡橋	山藤	磯本	中西	-
							(第2) 担当医	-
							(第4) 松井	-
午後 整形外科 専門外来		-	-	膝関節 岡橋	-	足・足関節 磯本	中西	-
							(第4) 足 松井	-
外科系総合外来	岡田	-	-	-	-	-	岡田	-
外科	勝井	-	勝井	-	-	國重	-	-
脳神経外科	-	山田修	-	-	-	-	-	-
耳鼻咽喉科	西村	-	上村	岡田拓	-	-	-	-
リハビリ	勝井	森元	岡田	中本	國重/石田*	田原	-	-
午後 内科一般	田原	浪崎	森元	田原	森元	-	-	-
処置外来	-	勝井	-	勝井	國重	-	-	-

診察時間 午前診 9:00 ~ 12:00 午後診 (内科一般) (月~金) 17:00 ~ 18:00 (処置外来) (月~金) 17:00 ~ 18:00

石田* リハビリ 要予約

※耳鼻咽喉科 第3木は休診